

4歳児虐待死の 検証組織設置へ

名古屋市、再発防止

名古屋市昭和区で4歳の男児が高校生に虐待されて死亡したとされる事件で、同市は5日、虐待情報が市児童相談所に寄せられながら、事件を防止できなかった原因と再発防止策を検証する組織を立

ち上げることを決めた。

会議では、児相の対応に疑問や批判が集中。名古屋弁護士会の瀧康暢弁護士が「市として調査し、教訓を得ることが大切ではないか」とたどした。市児童福祉センターの金子修身・相談課長は「不足だった点、どんな踏み込み方があり得たか、児相の対応を議論してもらえばいい」と答弁。第三者の意見も聞き、場面ごとの是非を検

証する場を設けることを約束した。